

---

# 苦悩連鎖

埴輪

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

苦惱連鎖

### 【Nコード】

N9284V

### 【作者名】

埴輪

### 【あらすじ】

蓮と坊主と役者の話。

自分の価値観を元になんともなく書いた短編です。

蓮の池に坊さんが一人やって来た。

この坊さんは坊主にするのがもつたいないほどの美丈夫だ。  
優美な曲線を描く眉は凜々しい紅顔によく映え、村の女房から生娘、果てには干乾びた老婆の心をも魅了した。  
これに面白くないと思うのは村の男達だ。

『おら達は毎朝毎晩汗水たらして女房、娘、腰の曲がった婆にお飯まんまを食わしてやってるんだ、なのにあの坊主は念仏を唱えるだけでお飯が食える、ああ憎たらしい、ああ憎たらしい』と。

村の男達から嫌われている坊さんは哀しくて悔しくて仕方がなかった。

熱心に説法を聞いてくる女達もただ自分の顔だけを見ている。  
仏様のありがたいお話なんてどうでもいいのだ。

虚しい。  
なんて虚しいのか。  
村の男達は憎たらしい乞食を見るような目で自分を睨む。

女達は仏に身を捧げた自分に媚びるような不埒な流し目をよこす始末。

ああ、なんて情けない。  
こんな顔が無ければよかったのに。  
坊さんは深く深く落ち込んで、ある日思い切つてぶくぶく沸かれた熱い湯を顔にかけた。

この顔がなければ、皆坊さんの話を真面目に聞いてくれるだろうと。  
坊さんの美しい顔は怖ろしいほどに膨れて、赤黒くなり、見ると吐

き気が込み上げてくるような酷い酷い、醜い顔になった。  
これに怒ったのは村の女達だ。

『なんてことをしてくれただ、あたしらは坊さんの綺麗な綺麗な顔を見るのが唯一の楽しみだったのに、ああなんてことをしてくれただ、ああ酷い』、と。

不気味な顔になった坊さんの説法を聞いてくれる人はいなくなった。女達は怒り、恐れ、男達は気味悪がって近づこうとしなかった。あんなに慕ってくれた子供達は坊さんに石を投げる始末。

坊さんは、途方にくれた。

途方にくれた坊さんの行く道に、大きな蓮の池が現れた。  
坊さんがその池に近づくと、蓮の中から声がした。

「坊さんがやって来た。

蓮の池に坊さんが一人やって来た」

これに坊さんは驚いて腰を抜かしてしまった。  
これは仏様が見せる夢の類なのか。

「坊さん、坊さん、どうした。  
どうして坊さん顔が爛れているんだい？」

蓮が問いかけてくるから坊さんは今までであったことを蓮に全部ぶちまけた。

話して行く内に、坊さんは泣いてしまった。

あまりにも自分が情けなくて、自分に徳がまったくないのだと、悲しんだ。

「ならば坊さんこっちへおいでよ。  
坊さんも、うちらと楽しく遊ぼう」

すると蓮は優しく坊さんを誘った。

村で行き場を無くした坊さんにとってその優しい言葉はなんと魅力的だった。

坊さんは嬉しくなって頷いた。

蓮も嬉しそうに笑った。

「おいでおいで。  
こっちにおいでよ」

蓮の言葉に従って、坊さんは蓮の池に飛び込んだ。

\*

蓮の池に役者が一人やって来た。

この役者は役者というには醜すぎる男だった。

幼い頃に酷い火傷を負ったらしく、怖ろしいほどに膨れ、赤黒く爛れた皮膚は見ると吐き気が込み上げてくるような酷い酷い、醜い顔だ。

劇団の男達からも嫌われていた。

『こいつがいるから俺達の劇に人が来ないんだ、少しばかり演技が上手くても、こんな顔じゃ人気も何も出るはずが無い、こいつのせいで俺達まで評価が下がる、なんて迷惑な奴だ』と。

劇団の男達から蔑まされ、役者は悲しんだ。

自分は確かに醜いが、この劇団の中で一番の実力者だ。

どいつもこいつも演技も何も見てくれない。

悔しい、ああ悔しい。

幾ら台本を読んでも、汗水流して無我夢中で稽古しても、誰も見てくれない、認めてくれない。

悔しい、そして、虚しく孤独だ。

女達から軽蔑され、男達からは見下され、なんて情けない。

こんな顔がなければよかったのに。

悔しくて悔しくて、辛くて辛くて、ある日役者は思い切って顔を整形した。

腕の良い医者に手術された顔は驚くほど美しかった。

優美な曲線を描く眉は凜々しい紅顔によく映え、まさに美男子と呼ぶに相応しい容貌になった。

これで皆自分の演技を見てくれると役者は思った。

が、顔をいじった役者に待ってたのは更なる軽蔑の視線だった。

『顔をいじるなんて信じられない、どんなに綺麗になっても元があの顔だと思うと気持ち悪い、男のくせにいちいち顔を気にするなんて、こっちに來ないで、吐き気がする、気持ちが悪いわ、ああ気持ちが悪い』、と。

女達は役者を批判した。

男達も以前とはまったく違っ、美しい顔になった役者を軽蔑しながら内心悔しがり、更に辛くあつた。

女達は役者を毛嫌いし、男達も役者のことを馬鹿にした。

子供達だけは役者を慕っていたが、今では石をぶつけてくる始末。

役者は、途方にくれた。

途方にくれた役者の行く道に、大きな蓮の池が現れた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9284v/>

---

苦惱連鎖

2011年10月7日03時23分発行